

『SSH講演会』を開催しました

6月4日(木)に、東北大学大学院農学研究科 教授 伊藤幸博 氏 を講師としてお迎えして、全校生徒を対象としたSSH講演会を実施いたしました。このSSH講演会は、科学分野の興味・関心を高めるとともに、第一線で活躍し、優れた業績をあげておられる研究者を招聘し、研究の魅力と最先端科学についての知見を深めることを目的として、毎年、分野を変えながら実施しています。

今回は「遺伝子と遺伝子組換え植物」という演題で、遺伝子の働きや遺伝子組換え技術の基本について、分かりやすく解説していただきました。特に、植物への遺伝子導入に利用されるアグロバクテリウムの仕組みや、遺伝子組換え技術を活用した研究事例として、高糖化イネの開発や、抗菌ペプチド・リゾスタフィンなどの有用タンパク質を生産する組換えイネの研究についてご紹介いただきました。生徒たちは、遺伝子組換え技術が食料生産や環境問題の解決、新たな物質生産など幅広い分野で活用されていることを学び、生命科学研究の可能性について理解を深めることができました。

講演後の質疑応答では、生徒たちから活発な質問が寄せられ、生命科学や農学研究の最前線に対する関心の高さがうかがえました。参加した生徒からは、「大学の研究は遠い存在だと思っていましたが、身近な生物や現象から世界的な課題の解決につながることを知り驚きました。日常の当たり前の中にも多くの可能性があると感じました」「自然界の仕組みを活用して遺伝子組換え技術が発展していることに驚きました。科学技術の可能性と自然の奥深さを感じるとともに、安全性や自然への敬意を持って活用することの大切さを学びました」といった感想が聞かれました。

今回の講演会は、生命科学の発展と社会との関わりについて考える貴重な機会となりました。ご多忙中、本校生徒のためにご講演いただいた伊藤氏に心より感謝申し上げます。

○講演の様子

